

# NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

## 分冊⑧：1996–2005

- \* 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- \* 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- \* 1987–2025年の年表は西村理による

### 主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』  
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）  
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）  
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）  
『音楽年鑑』（音楽之友社）  
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）  
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）  
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）  
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）  
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）  
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)  
*Baker's Biographical Dictionary of Musicians* (G. Schirmer, 1971)  
*Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personenteil* (Schott's Söhne, 1972)

### オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団  
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025  
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

## 1996

平成8年

1996年1月5日	理事長に曾我健が就任	
1996年1月7日	大河ドラマ『吉宗』（テーマ音楽：小六禮次郎、指揮：大友直人、パンフルート：藤山明、トランペット：津堅直弘）放送開始	
1996年1月11日		橋本龍太郎が内閣総理大臣に就任
1996年1月29日	「サントリーホール 若杉弘&NHK交響楽団 ブルックナー・チクルスー2つの世紀のカトリック ブルックナー没後100年記念」開始（～1998年3月13日、全9回）	
1996年2月	第44回尾高賞を野平一郎《室内協奏曲第1番》、林光《ヴィオラ協奏曲「悲歌」》に授与	
1996年2月	定期公演指揮者にスタニスラフ・スクロヴァチェフスキを招聘。N響定期初登場	
1996年2月2日		柴田南雄（作曲）没
1996年2月12日		司馬遼太郎（小説）没
1996年2月20日		武満徹（作曲）没
1996年2月26日		田中希代子（ピアノ）没
1996年3月1・2日	第1286回定期公演で武満徹を偲びハインツ・ワルベルクが《弦楽のためのレクイエム》を指揮	
1996年3月2～20日		第1回宮崎国際室内音楽祭開催（総合プロデューサー：徳永二男）（2002年以降「宮崎国際音楽祭」に改称）
1996年4月	定期公演で外山雄三、岩城宏之、若杉弘の3人の正指揮者「N響デビュー・チクルス」	
1996年4月1日		検索エンジン・ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」サービス開始
1996年4月26・27日	N響創立70周年記念特別演奏会（指揮：グスタフ・クーン、ピアノ：イーヴォ・ボゴレリチ）	
1996年4月30日	岡山シンフォニーホールから功績賞を受賞	
1996年5月17日	徳永兼一郎（首席チェロ奏者）没	
1996年5月16～25日		ウォルフガング・サヴァリッシュが音楽監督を務めるフィラデルフィア管弦楽団を率いて、東京でベートーヴェンの交響曲全曲演奏会
1996年6月1日	ウィルヘルム・ヒューブナー（元客演コンサートマスター）没	
1996年6月3日		フェルディナント・ライトナー（指揮）没
1996年6月29日		「三大テノール」（ルチアーノ・パヴァロッティ、プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラス）東京公演（旧国立競技場）
1997年7月4日		札幌コンサートホール Kitara開館
1996年7月12日		安川加壽子（ピアノ）没
1996年7月19・20日	N響創立70周年記念特別演奏会（指揮：ワレリー・ゲルギエフ）	
1996年7月19日～8月6日		アトランタオリンピック開催
1996年8月14日		セルジュ・チェリビダッケ（指揮）没
1996年8月15日		丸山眞男（政治思想史）没
1996年8月17日		秋山邦晴（音楽評論）没
1996年9月・10月	定期公演でヘルベルト・ブロムシュテットとホルスト・シュタインが「ベートーヴェン・チクルス」	
1996年9月1日	シャルル・デュトワが常任指揮者に就任	
1996年9月18～29日		フィレンツェ歌劇場（指揮：ズービン・メータ）が初来日
1996年9月28日		民主党結成（代表：菅直人、鳩山由紀夫）
1996年10月	第16回有馬賞を三菱地所株式会社（N響特別支援企業）、小林一男（テノール）、岡崎耕治（N響首席ファゴット奏者）に授与	
1996年10月25日		吉田秀和（音楽評論）が文化功労者に選ばれる
1996年11月7日		10月20日に投票された衆議院議員総選挙の結果、単独政権として自民党の橋本龍太郎が内閣総理大臣に就任
1996年11月8・9日	サントリーホール10周年/N響創立70周年記念演奏会（指揮：ズービン・メータ）	
1996年11月18日		井上頼豊（チェロ）没
1996年12月5・6日	この月のAプログラム（指揮：シャルル・デュトワ、オネゲル《劇的オラトリオ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」》）は特別企画による特別価格	
1997年12月11・12日	第1338回定期公演にハンナ・チャン（チェロ）出演	
1996年12月17日		在ペルー日本大使公邸占拠事件
1996年12月20・21日	シャルル・デュトワN響常任指揮者就任記念演奏会（ピアノ：マルタ・アルゲリッチ）。協奏曲以外の曲目は、同年4月から6月までの定期会員の希望曲からデュトワが選択	
1997年1月5日	大河ドラマ『毛利元就』（テーマ音楽：渡辺俊幸、指揮：外山雄三）放送開始	
1997年2月	第45回尾高賞を湯浅譲二《ヴァイオリン協奏曲—イン・メモリー・オヴ・武満徹—》に授与	
1997年2～5月		神戸連続児童殺傷事件
1997年2月19日		鄧小平（元中国最高指導者）没
1997年3月16日		村田武雄（音楽評論）没
1997年4月1日		消費税が5%に引き上げられる
1997年4月1日	篠崎史紀がコンサートマスターとして入団（2000年4月1日～2023年3月31日「第1コンサートマスター」、2023年4月1日～2025年3月31日「特別コンサートマスター」）	
1997年4月10日		黛敏郎（作曲）没
1997年4月23～30日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ドゥイスブルク、ミュンヘン、ニュルンベルク）、フランス（パリ）、スイス（チューリヒ）、オーストリア（ウィーン）の4か国6都市で開催（指揮：シャルル・デュトワ、ヴァイオリン：竹澤恭子）	
1997年5月8日		「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」（アイヌ文化振興法）成立

## 1997

平成9年

	N 響	社会・音楽界
	1997年5月14日	三枝成彰《オペラ「忠臣蔵」》世界初演（東京文化会館）
	1997年6月	定期公演にデュトワが若い音楽ファンを招待する「デュトワ・シート」開始
	1997年7月1日	香港がイギリスから中国に返還
	1997年8月1日	スヴァトスラフ・リヒテル（ピアノ）没
	1997年8月31日	ダイアナ元皇太妃が交通事故死
	1997年9月	定期公演入場料の改定。年間会員 [S席6,930円（年間69,300円）、A席5,910円（年間59,100円）、B席4,890円（年間48,900円）、C席3,870円（年間38,700円）、D席2,950円（年間29,500円）]、シーズン会員 [S席7,330円（4回分29,320円）、A席6,210円（4回分24,840円）、B席5,190円（4回分20,760円）、C席4,070円（4回分16,280円）、D席（3階指定席）一般3,050円（4回分12,200円）、学生1,520円（4回分6,080円）]、1回券 [S席8,150円、A席6,930円、B席5,810円、C席4,580円、D席（3階指定席）一般3,460円、学生1,520円、E席（3階自由席）1,520円]
	1997年9月	『フィルハーモニー』が年3回発行となる（～2004年6月）
	1997年9月5日	ゲオルク・ショルティ（指揮）没
	1997年9月6日	北野武監督映画『HANA-BI』が第54回ヴェネツィア国際映画祭 金獅子賞（グランプリ）を受賞
	1997年9月10日	東京オペラシティコンサートホール開館
	1997年10月	第17回有馬賞を檀ふみ（女優）、池辺晋一郎（作曲）、百瀬和紀（N響首席ティンパニ奏者）に授与
	1997年10月1日	長野新幹線開業
	1997年10月10日	新国立劇場開館
	1997年11月	定期公演で「ブラームス没後100年」「メンデルスゾーン没後150年」「シューベルト生誕200年」を記念したプログラムをウォルフガング・サヴァリッシュが指揮
	1997年11月	愛知県芸術劇場と岡山シンフォニーホールで「定期公演」の同一プログラムの定例化開始
	1997年11月13～15日	「オーケストラ・サミット・イン・ジャパン」開催
	1997年11月16日	サッカー・ワールドカップ初の本戦出場決定（ジョホールバルの歓喜）
	1997年11月24日	山一証券自主廃業
	1997年12月28日	東京湾横断道路（東京湾アクアライン）開通
	1998年1月1日	クラシック音楽専門の有料テレビ・チャンネル「クラシカ・ジャパン」開局
	1998年1月4日	大河ドラマ『徳川慶喜』（テーマ音楽：湯浅譲二、指揮：岩城宏之）放送開始
	1998年1月11日	クラウス・テンシュテット（指揮）没
	1998年1月26日	鈴木鎮一（ヴァイオリン）没
	1998年2月	第46回尾高賞は該当作品なし
	1998年2月7～22日	長野冬季オリンピック開催
	1998年2月7日	長野冬季オリンピック開会式で長野と五大陸（ベルリン、シドニー、ニューヨーク、北京、ケープタウン）を衛星中継で結びベートーヴェンの《歓喜の歌》（指揮：小澤征爾）が演奏される
	1998年3月23日	石丸寛（指揮）没
	1998年4月	前年の定期公演の聴衆アンケートによる「N響ベスト・コンサート」（2004年から「最も心に残ったN響コンサート」）発表開始
	1998年4月	定期公演で「世界の若手指揮者たち」シリーズとしてアラン・ギルバート、準・メルクル、ウルフ・シルマーの3名の若手指揮者登場
	1998年4月1日	東京都交響楽団音楽監督にガリー・ベルティニーが就任（2005年3月退任）
	1998年4月3日	中河原理（音楽評論）没
	1998年4月5日	明石海峡大橋開通
	1998年5月22日	特別公演「アンドレ・ブレヴィンとN響メンバーの室内楽コンサート」（紀尾井ホール）開催
	1998年6月17日	CD『プロコフィエフ：バレエ《ロメオとジュリエット》（抜粋）、交響曲第6番』（指揮：シャルル・デュトワ）をデッカ・レーベルから発売、世界各国でも発売
	1998年7月1日	第11回チャイコフスキー国際コンクール声楽部門で佐藤美枝子（ソプラノ）が第1位
	1998年7月22日	ヘルマン・プライ（バリトン）没
	1998年7月25日	和歌山毒物カレー事件
	1998年7月30日	小淵恵三が内閣総理大臣に就任
	1998年8月3日	アリフレド・シュニトケ（作曲）没
	1998年7月25日	Microsoft「Windows 98」日本語版発売
	1998年9月1日	シャルル・デュトワが初の音楽監督に就任（～2003年8月。2003年9月から名誉音楽監督）
	1998年9月	1998-99シーズンより3月定期公演を廃止。定期公演Bプログラムは会場がNHKホールからサントリーホールへ移行（それに伴いこのシーズンのBプログラムはD席（学生優待）以外の新規年間会員の募集なし、当日券のみの扱いとなる）。定期公演Cプログラム2日目の開演時間が午後2時15分から午後2時に変更。年間会員とシーズン会員の料金も改定。年間会員 [S席6,930円（年間9回62,370円）、A席5,910円（年間9回53,190円）、B席4,890円（年間9回44,010円）、C席3,870円（年間9回34,830円）、D席2,950円（年間9回26,550円）、D席（学生優待）Bプログラムのみ1,520円（年間9回13,680円）]、シーズン会員 [S席7,330円（3回21,990円）、A席6,210円（3回18,630円）、B席5,190円（3回15,570円）、C席4,070円（3回12,210円）、D席3,050円（3回9,150円）、D席（学生優待）1,520円（3回4,560円）]
	1998年9月	定期公演指揮者にチョン・ミョンフンを招聘（Aプログラム、Bプログラム）。N響定期初登場
	1998年9月5日	びわ湖ホール開館、芸術監督に若杉弘が就任（2007年3月退任）

# 1998

平成10年

## 1999

平成11年

1998年9月6日		黒澤明 (映画監督) 没
1998年9月26日	「N響オーチャード定期」 (シーズン5回、2022/2023から4回) 開始	
1998年10月	第18回有馬賞を佐治敬三 (サントリーホール館長)、小川昴、田淵彰 (N響ライブラリアン) に授与	
1998年10月8・9日	第1362回定期公演にスウェーデン放送合唱団が出演 (パッハ《ミサ曲口短調》、指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット)	
1998年10月23日		園田高弘 (ピアノ)、遠山一行 (音楽評論) が文化功労者に選ばれる
1998年10月23日		日本長期信用銀行破綻
1998年11月	定期公演で「オール・シューマン・チクルス」 (指揮: ヴォルフガング・サヴァリッシュ)	
1998年11月		指揮者のフィリップ・ヘレヴェッヘがバリ・シャンゼリゼ管弦楽団、コレギウム・ヴォカレレ、シャベル・ロワイヤルを率いて初来日
1998年11月11日		淀川長治 (映画評論) 没
1998年11月23~30日		第1回別府アルゲリッチ音楽祭開催
1998年11月28~30日	中国公演。中国 (北京、上海) の2都市で開催 (指揮: シャルル・デュトワ、ピアノ: 小山実稚恵)	
1998年12月	鎌倉芸術館で「定期公演」の同一プログラムの定例化開始	
1999年1月	定期公演で「ショパン没後150年とポーランド音楽」 (指揮: スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ)	
1999年1月2日		ロルフ・リーバーマン (作曲) 没
1999年1月10日	大河ドラマ『元祿繚乱』 (テーマ音楽: 池辺晋一郎、指揮: 秋山和慶) 放送開始	
1999年2月	第47回尾高賞を三善晃《馬歌・波摘み》、池辺晋一郎《悲しみの森》に授与	
1999年2月11日		NHK ETV特集「フジコ〜あるピアニストの軌跡」が放送され、フジコ・ヘミングが脚光を浴びる
1999年3月	3月定期公演の廃止、地方公演、特別公演の充実へ	
1999年3月12日		ユーディ・メニューイン (ヴァイオリン) 没
1999年3月21日		三善晃《オペラ「遠い帆」》世界初演 (仙台市青年文化センターシアターホール)
1999年4月14日	第1378回定期公演でグバイドゥーリナ《イン・ザ・シャドー・オブ・ザ・トゥリー〜3つの琴と箏とオーケストラのための》 (N響委嘱) 世界初演 (指揮: シャルル・デュトワ、琴・箏: 沢井一恵)	
1999年4月23日		東京都知事に石原慎太郎が就任
1999年4月24日	教育テレビ40周年、カナダとの国際共同制作テレビ番組『シャルル・デュトワの若者に贈る音楽事典』開始 (〜2000年3月25日、プロローグ含め全11回)	
1999年4月25日〜5月2日	アメリカ公演。アメリカ (アン・アーバー、シカゴ、ニューヨーク、ボストン、ワシントン) の5都市で開催 (指揮: シャルル・デュトワ、ヴァイオリン: イツァーク・パールマン、サラ・チャン、箏: 沢井一恵)	
1999年5月6日		東山魁夷 (日本画) 没
1999年5月13・14日	この月のAプログラム (指揮: アンドレ・プレヴィン、ブリテン《春の交響曲》ほか) は特別企画による特別価格	
1999年6月	定期公演で「海外にポジションをもつ日本人若手指揮者シリーズ」 (大植英次、上岡敏之、大勝秀也)	
1999年6月	足利市民会館で「定期公演」の同一プログラムの定例化開始	
1999年6月6日		イリヤ・ムーシン (指揮) 没
1999年6月15日		男女共同参画社会基本法制定成立
1999年6月23日	1954年に初来日したヘルベルト・フォン・カラヤンがN響を指揮したチャイコフスキー《交響曲第6番「悲愴」》の放送録音が見つかり、ドイツ・グラモフォン・レーベルからリリース	
1999年7月1日		新国立劇場オペラ部門芸術監督に五十嵐喜芳が就任
1999年7月23日	レナード・バーンスタインの提唱で始まった国際教育音楽祭PMF (パンフィック・ミュージック・フェスティバル札幌) に初出演	
1999年8月9日		「国旗及び国歌に関する法律」 (国旗・国歌法) 成立
1999年9月22日		淡谷のり子 (歌手) 没
1999年9月30日		東海村JCO臨界事故
1999年10月	第19回有馬賞をアイシン・エイ・ダブリュ株式会社、大久保淑人 (N響ヴィオラ奏者) に授与	
1999年10月13・14日	第1389回定期公演でR. シュトラウス没後50年を記念したプログラム (指揮: イルジー・コウト)	
1999年10月3日		盛田昭夫 (元ソニー社長) 没
1999年10月7日	永年にわたるN響との活動や、日本における西洋音楽の普及と育成に対して、ヴォルフガング・サヴァリッシュに国際交流基金賞が授与	
1999年10月10日		第46回パガニーニ国際コンクールで庄司紗矢香 (ヴァイオリン) が第1位
1999年11月	「N響オフィシャル・サイト」開設	
1999年11月	定期公演でR. シュトラウス没後50年を記念した3つのプログラム (指揮: ヴォルフガング・サヴァリッシュ)	
1999年11月3日		佐治敬三 (元サントリー社長) 没
1999年11月25日	第1394回定期公演でタン・ドン《オーケストラ・シアターIV「門」》 (N響委嘱) 世界初演 (指揮: シャルル・デュトワ)	
1999年12月14日		矢野暢 (政治学) 没
1999年12月18・19日	特別公演「セミステージ・オペラ」でダルラピッコラ《オペラ「囚われびと」》とフォーレ《レクイエム》を続けて演出付きで上演 (指揮: シャルル・デュトワ、演出: 高島勲)	
1999年12月25日		東敦子 (ソプラノ) 没

## 2000

平成12年

2000年1月1日		コンピュータの誤作動をめぐる「2000年（Y2K）問題」、大きな混乱は発生せず
2000年1月9日	大河ドラマ『葵 徳川三代』（テーマ音楽《Time Of Distiny》：岩代太郎、指揮：シャルル・デュトワ、ゲンブリッジ・キングズ・カレッジ合唱団、ピアノ：小山実稚恵）放送開始	
2000年1月27日		フリードリヒ・グルダ（ピアノ）没
2000年2月	第48回尾高賞を外山雄三（交響曲第2番）、藤家溪子《ギター協奏曲第2番「恋すてふ」》に授与	
2000年3月4日		ラッヘンマン《オペラ「マッチ売りの少女」》日本初演（サントリーホール）
2000年3月31日		北海道・有珠山噴火
2000年4月	定期公演で「ショスタコーヴィチ没後25年」を記念した2つのプログラム（指揮：エアフ・インバル）	
2000年4月5日		森喜朗が内閣総理大臣に就任
2000年5月3日		中田喜直（作曲）没
2000年5月7日		プーチンがロシア連邦大統領に就任
2000年5月10日		佐川吉男（音楽評論）没
2000年5月20日		ジャン・ピエール・ランバル（フルート）没
2000年6月		堤剛（チェロ）がサントリー音楽財団（2009年9月からサントリー芸術財団）理事長に就任
2000年6月1～13日		「小澤征爾音楽塾」開始
2000年6月16日		香淳皇后崩御
2000年7月		PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）芸術監督にシャルル・デュトワが就任（～2002年7月）
2000年7月8日		伊豆諸島・三宅島噴火
2000年7月17～23日	PMFの芸術監督にシャルル・デュトワが就任し、N響も出演	
2000年7月19日		新紙幣2000円札発行
2000年8月25・26日	若者のためのコンサート「イゲるじゃん！クラシック」開始（2004年8月から「ほっとコンサート」と改称）	
2000年9月1日	アシスタント・コンダクターに岩村力（2008年8月まで）と齊藤一郎（2004年3月まで）が就任	
2000年9月15日～10月1日		シドニーオリンピック開催
2000年10月	定期公演指揮者にウラディーミル・アシュケナージを招聘（Aプログラム、Bプログラム）。N響定期初登場	
2000年10月	第20回有馬賞を岩城宏之（N響正指揮者）、内山洋（N響クラリネット奏者）に授与	
2000年10月10日		白川英樹がノーベル化学賞を受賞
2000年10月22日		高田三郎（作曲）没
2000年10月24日		畑中良輔（バリトン）が文化功労者に選ばれる
2000年12月1日		BSデジタル放送、本放送開始（BS1、BS2、BSハイビジョンの3波体制）
2000年12月26日		NHKのウェブサイト「NHKオンライン」でニュース提供開始

## 2001

平成13年

2001年1月7日	大河ドラマ『北条時宗』（テーマ音楽《蒼風～オープニング・テーマ～》：栗山和樹、指揮：尾高忠明）放送開始	
2001年1月11日	第1424回定期公演でヘンツェの《歌劇「ヴィーナスとアドニス」》日本初演（コンサート形式／指揮：準・メルクル、振付：田中沢）	
2001年1月20日		ジョージ・ウォーカー・ブッシュがアメリカ合衆国大統領に就任
2001年2月	第49回尾高賞を北爪道夫《地の風景—オーケストラのための—》に授与	
2001年2月4日		ヤニス・クセナキス（作曲）没
2001年2月25日		中村洪介（音楽評論）没
2001年3月31日		ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開場
2001年4月1日		東京フィルハーモニー交響楽団と新星日本交響楽団が合併し、名称は東京フィルハーモニー交響楽団
2001年4月1日		京都市交響楽団常任指揮者に大友直人が就任
2001年4月20日		ジュゼッペ・シノーポリ（指揮）没
2001年4月26日		小泉純一郎が内閣総理大臣に就任
2001年5月		創立100年記念でフィラデルフィア管弦楽団（指揮：ウォルフガング・サヴァリッシュ）来日公演
2001年5月17日		團伊玖磨（作曲）没
2001年6月8日		大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件
2001年6月22日	第1438回定期公演でベンデレツキ《コンチェルト・グロソフ—3つのチェロとオーケストラのための—（N響委嘱）世界初演（指揮：シャルル・デュトワ、チェロ：トルルス・モルク、ボリス・ベルガメンシコフ、ハンナ・チャン）	
2001年7月	ファビオ・ルイージがN響を初めて指揮	
2001年7月1日	理事長に田畑和宏が就任	
2001年7月4日	「楽壇生活35周年記念 徳永二男ヴァイオリン協奏曲の夕べ」に出演	
2001年7月20日		映画『王は踊る』日本公開
2001年8月22～27日	ヨーロッパ公演。スイス（ルツェルン）「ルツェルン音楽祭」、ドイツ（ヴィースバーデン）「ラインガウ音楽祭」、オランダ（アムステルダム）「コンセルトヘボウ・サマーフェスティバル」、イギリス（ロンドン）「BBCプロムス」の4か国4都市で5公演に出演（指揮：シャルル・デュトワ、ピアノ：マルタ・アルゲリッチ、ソプラノ：ルース・ツイーザック、バリトン：ポー・スコーフス、合唱：スイス室内合唱団、笙：宮田まゆみ）	

N 響		社会・音楽界
2001年9月	「学生」の対象を「学生または25歳以下」に拡大。「学生優待」をA・Cプログラムの年間会員にも拡大。年間会員 [D席 (学生または25歳以下) 1,000円 (年間9回9,000円) ]、シーズン会員 [D席 (学生または25歳以下) 1,330円 (3回4,000円) ]	
2001年9月6日		門馬直美 (音楽評論) 没
2001年9月11日		アメリカ同時多発テロ事件
2001年9月21日		第47回プザンソン国際指揮者コンクールで下野竜也が優勝
2001年9月22日		アイザック・スターン (ヴァイオリン) 没
2001年9月25日	N響創立75周年、キングレコード創業70周年、NHKサービスセンター創立50周年を記念して『N響伝説のライブ!』をリリース (9月25日15タイトル、10月30日15タイトル) (監修: 諸石幸生、奥田佳道)	
2001年10月	第21回有馬賞を株式会社東急文化村 オーチャードホール、中瀬裕道 (N響インスペクター・ヴァイオリン奏者) に授与	
2001年10月5・6日	「N響75周年記念特別演奏会」L. リーバーマン《モーツァルトの主題による変奏曲》(N響委嘱) 世界初演、オルフ《カルミナ・ブラーナ》(指揮: シャルル・デュトワ)	
2001年10月10日		野依良治がノーベル化学賞を受賞
2001年10月12・14日	「N響創立75周年・サントリーホール開場15周年記念特別演奏会」メンデルスゾーン《オラトリオ「エアリア」》(指揮: ウォルフガング・サヴァリッシュ)	
2001年10月20日		藤田晴子 (ピアノ・音楽評論) 没
2001年10月25日		松平頼則 (作曲) 没
2001年10月26・27日	第1443回定期公演でN響75周年を記念してサヴァリッシュ「N響デビュー・プログラム」	
2001年11月	定期公演指揮者にネルロ・サンティを招聘。N響定期初登場	
2001年11月17日		アップルの携帯型デジタル音楽プレイヤー「iPod」日本発売
2001年11月21日	N響創立75周年記念録音として、デッカ・レーベルとのCD第2弾『チャイコフスキー《交響曲第4番》、武満徹《遠い呼び声の彼方へ!》《弦楽のためのレクイエム》』(指揮: シャルル・デュトワ、ヴァイオリン: 諏訪内晶子) 発売	
2001年12月	定期公演でN響創立75周年を記念してシャルル・デュトワが、Aプログラム (第1448回) でハイドン《オラトリオ「天地創造」》、Bプログラム (第1449回) でベルリオーズ《オラトリオ「キリストの幼児」》を指揮	
2001年12月7日		「文化芸術振興基本法」公布
2001年12月9日		原智恵子 (ピアノ) 没
2001年12月29日		朝比奈隆 (指揮) 没
2002年1月	定期公演指揮者にパーヴォ・ヤルヴィを招聘。N響初登場	
2002年1月1日		EU統一通貨ユーロ流通開始
2002年1月1日		小澤征爾がウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の「ニューイヤーコンサート」を指揮
2002年1月6日	大河ドラマ『利家とまつ〜加賀百万石物語〜』(テーマ音楽: 渡辺俊幸、指揮: 岩城宏之、オーケストラ・アンサンブル金沢) 放送開始	
2002年2月		
2002年2月14日		ギンター・ヴァント (指揮) 没
2002年2月9〜24日		ソルトレークシティ冬季オリンピック開催
2002年2月	第50回尾高賞を細川俊夫《ハープ協奏曲「回帰」―辻邦生の追憶に―》に授与	
2002年2月20・21日	Bプログラム (第1456回) でN響創立75周年記念・第1回定期 (1926年2月20日) 記念 (指揮: シャルル・デュトワ)、細川俊夫《海からの声》(N響委嘱) 世界初演	
2002年3月7〜13日	中国 (香港)、シンガポール (シンガポール)、マレーシア (クアラルンプール) の3か国3都市で5公演を開催 (指揮: シャルル・デュトワ、ピアノ: 児玉桃、ヴァイオリン: 竹澤恭子、リー・フェイ・ミン)	
2002年5月3日		エフゲーニ・スヴェトラノフ (指揮) 没
2002年5月9・10日	韓国公演。韓国 (ソウル) で開催 (指揮: シャルル・デュトワ、ソプラノ: 中村智子、メゾ・ソプラノ: 藤村実穂子、テノール: ウーヴェ・ハイルマン、バス: 福島明也、合唱: 韓国国立合唱団、安養市立合唱団)。日韓共催のサッカー・ワールドカップを記念して、N響とKBS交響楽団を相互派遣	
2002年5月31日〜6月30日		日韓共催でサッカー・ワールドカップ
2002年6月13・14日	第1463回定期公演にラン・ラン (ピアノ) 出演	
2002年6月18日		山本直純 (作曲・指揮) 没
2002年6月22日		第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門で上原彩子が第1位、ヴァイオリン部門で川久保聡紀が第2位
2002年9月		大野和士がモネ劇場 (ベルギー王立歌劇場) 音楽監督に就任
2002年9月		小澤征爾がウィーン国立歌劇場音楽監督に就任 (〜2010年6月)
2002年9月17日		小泉純一郎首相が日本の首相として初めて北朝鮮を訪問し、金正日総書記と会談、金総書記が日本人拉致問題を認める
2002年9月18・19日	第1468回定期公演に庄司紗矢香 (ヴァイオリン) 出演	
2002年10月	第22回有馬賞を財団法人岡山シンフォニーホール、N響ファゴット・セクション一同、N響トランペット・セクション一同に授与	
2002年10月8日		小柴昌俊がノーベル物理学賞を受賞
2002年10月9日		田中耕一がノーベル化学賞を受賞
2002年10月16日〜11月22日		「ポリーニ・プロジェクト 2002 in 東京」開催
2002年10月22・24日	タン・ドゥンのホール・オペラ《TEA》(サントリーホール委嘱作品) 世界初演	
2002年11月24日	キーロフ歌劇場管弦楽団/NHK交響楽団合同公演 (指揮: ワレリー・ゲルギエフ)	

## 2002

平成14年

N 響		社会・音楽界
2003 平成15年	2002年11月30日	平井康三郎（作曲）没
	2003年1月5日	大河ドラマ『武蔵MUSASHI』（テーマ音楽：エンニオ・モリコーネ、指揮：服部克久、トランペット：関山幸弘）放送開始
	2003年1月26日	ジョン・ブラウニング（ピアノ）没
	2003年2月	第51回尾高賞を湯浅譲二（内触覚的宇宙 第5番）に授与
	2003年2月1日	スペースシャトル「コロンビア号」空中分解事故
	2003年3月	2002年度ミュージック・ベンクラブ・ジャパン音楽賞クラシック部門コンサート・パフォーマンス賞をワレリー・ゲルギエフ指揮「キエフ歌劇場管弦楽団／NHK交響楽団合同公演」ほかを受賞
	2003年3月6日	音楽監督シャルル・デュトワが第54回日本放送協会放送文化賞受賞
	2003年3月20日	アメリカ・イギリスがイラク攻撃開始
	2003年3月27日～4月6日	新国立劇場のワーグナー《ニーベルングの指環》第2日《ジークフリート》（指揮：準・メルクル）に出演
	2003年4月1日	若手人材育成のための「N響アカデミー」設立
	2003年4月1日	大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に大植英次が就任（～2012年3月）
	2003年4月4～12日	バッハ・コレギウム・ジャパン（指揮：鈴木雅明）が初めてのアメリカ・ツアー
	2003年4月8日	石井眞木（作曲）没
	2003年4月8日	上浪渡（音楽評論）没
	2003年4月11・12日	第1484定期公演でベリオーズ生誕200年を記念したプログラム（指揮：シャルル・デュトワ）
	2003年4月17・18日	第1485回定期公演でマクミラン《交響曲第3番「沈黙」》（N響、BBC共同委嘱）世界初演（指揮：シャルル・デュトワ）
	2003年4月22日	井上直幸（ピアノ）没
	2003年4月23～29日	ヨーロッパ公演。ロシア（サンクトペテルブルク、モスクワ）、オーストリア（ウィーン）、ドイツ（ミュンヘン、ベルリン）の3か国5都市で開催（指揮：シャルル・デュトワ、ピアノ：ミハイル・ブレトニョフ、ラルス・フォークト、笙：宮田まゆみ）
	2003年5月23日	個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）成立
	2003年5月27日	ルチアーノ・ベリオ（作曲）没
	2003年6月22日	寺西春雄（音楽評論）没
	2003年7月8日	戸田邦雄（作曲）没
	2003年9月22日	鷲見四郎（ヴァイオリン）没
	2003年10月1日	新国立劇場オペラ部門芸術監督にトーマス・ノヴォラツスキーが就任
	2003年10月	新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督にクリスティアン・アルミンクが就任（～2013年8月）
	2003年10月	第23回有馬賞を財団法人鎌倉市芸術文化振興財団、松崎裕（N響首席ホルン奏者）、N響ヴィオラ・セクション一同に授与
2003年10月6日	武田明倫（音楽学）没	
2003年10月28日	伊福部昭（作曲）が文化功労者に選ばれる	
2003年11月17日	吉田雅夫（フルート）没	
2003年11月30日	神原音楽事務所が解散	
2003年12月1日	地上デジタル放送が東京、大阪、名古屋の3都市の一部地域で開始	
2003年12月6日	ハンス・ホッター（バス・バリトン）没	
2003年12月13日	フセイン元イラク大統領を拘束	
2004 平成16年	2004年1月11日	大河ドラマ『新選組!』（テーマ音楽：服部隆之、作詞：三谷幸喜、指揮：広上淳一、ヴォーカル：ジョン・健・スツツォ）放送開始
	2004年2月	第52回尾高賞は該当作品なし
	2004年2月	定期公演AプログラムとCプログラムでハインツ・ワルベルクの「N響デビュー・プログラム・シリーズ」
	2004年2月4日	ソーシャル・ネットワーキング・サービス「Facebook」を立ち上げる
	2004年3月1日	日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督に小林研一郎が就任
	2004年3月3日	ソーシャル・ネットワーキング・サービス「mixi」公式オープン
	2004年3月13日	九州新幹線開業
	2004年3月26日～4月4日	新国立劇場のワーグナー《ニーベルングの指環》第3日《神々の黄昏》（指揮：準・メルクル）に出演
	2004年4月	定期公演で「オール・ベートーヴェン・プログラム」（指揮：スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ）
	2004年4月3日	バッハの《カンタータ「満たされたブライセの町よ」》BWV216のオリジナル・パート譜が原智恵子（ピアノ）の遺品から発見される
	2004年4月21・22日	第1513回定期公演にバトリツィア・コパチンスカヤ（ヴァイオリン）出演
	2004年7月10～16日	ヨーロッパ音楽祭公演。ベルギー（ブルージュ）、スロヴェニア（リュブリャナ）、オーストリア（フィラッハ）「ケルンテン夏の音楽祭」、ドイツ（キール）「シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭」、オランダ（アムステルダム）の5か国5都市で開催（指揮：ウラディール・ミル・アシュケナージ、ヴァイオリン：ジュリアン・ラクリン、バグパイプ：グンター・ハウスクネヒト）
	2004年7月13日	カルロス・クライバー（指揮）没
	2004年8月13～30日	アテネオリンピック開催
	2004年9月1日	ウラディミール・アシュケナージが音楽監督に就任（～2007年8月。2007年9月から桂冠指揮者）
	2004年9月	定期公演Aプログラムの公演日・開演時間が、木・19時、金・19時から土・18時、日・15時に、Cプログラム2日目の開演時間が14時から15時に変更
	2004年9月	『フィルハーモニー』が年9回（定期公演開催月）の発行となる
	2004年9月	東京交響楽団音楽監督にユーベル・スダーンが就任
	2004年9月29日	1966年以来、170回以上にわたり指揮をしたハインツ・ワルベルク没

## 2005

平成17年

2004年10月	定期公演AプログラムとCプログラムでウラディーミル・アシュケナージ音楽監督就任記念	
2004年10月	第24回有馬賞をビー・エム・ダブリュー株式会社（N響特別協力企業）、多戸幾久三（N響テューバ奏者）に授与	
2004年10月3～15日		小澤征爾が音楽監督としてウィーン国立歌劇場を率いて凱旋帰国
2004年10月7日		園田高弘（ピアノ）没
2004年10月9・10日	ウラディーミル・アシュケナージ音楽監督就任記念演奏会（サントリーホール）	
2004年10月23日		新潟県中越地震
2004年11月1日		1万円、5千円、千円の3紙幣を改刷
2004年11月11日		パレスチナ自治政府のヤセル・アラファト議長没
2003年11月17日		吉田雅夫（フルート）没
2005年1月 8日	新潟県中越地震被害者支援チャリティーコンサート（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ピアノ：清水和音）	
2005年1月9日	大河ドラマ『義経』（テーマ音楽《伝説、そして神話へ》：岩代太郎、指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）放送開始	
2005年1月23日	「阪神淡路震災10年追悼N響神戸特別演奏会」（神戸文化ホール）でモーツァルト《レクイエム》ほか（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）	
2005年2月	第53回尾高賞を望月京《クラウド・ナイン》に授与	
2005年2月	定期公演指揮者にジャンドレア・ノセダを招聘（Bプログラム、Cプログラム）。N響初登場	
2005年2月6日		ラザール・ベルマン（ピアノ）没
2005年2月15日		「YouTube」設立
2005年3月13日～3月22日		「東京のオペラの森」開催（～2008年）（2009年からは「東京・春・音楽祭」として開催）
2005年3月25日～9月25日		2005年日本国際博覧会（愛・地球博、愛知万博）
2005年3月17日		ガリー・ベルティニ（指揮）没
2005年4月		東京都交響楽団常任指揮者にジェイムズ・デブリストが就任（2008年3月退任）
2005年4月2日		ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世没
2005年4月25日		JR福知山線脱線事故
2005年4月24日～5月1日		「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭」（2018年から「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO」に改称）開始
2005年6月14日		カルロ・マリア・ジュリーニ（指揮）没
2005年6月24日		ハンス・カン（ピアノ）没
2005年7月7・21日		ロンドン同時爆破テロ
2005年7月25日～8月26日		パイロイト音楽祭に大植英次がアジア人指揮者として初めて出演し、《トリストタンとイゾルデ》を指揮
2005年8月4日		コンテンツ有料配信サービス「iTunes Store」が日本で配信開始
2005年8月13日		第6回神戸国際フルートコンクールで小山裕幾が第1位
2005年9月14日		第54回ミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門で岡崎慶輔が第1位
2005年9月24日	第1550定期公演でラウタヴァーラ《Book of Visions》（N響、ベルギー国立管弦楽団、ロイヤル・スコットランド国立管弦楽団共同委嘱）日本初演（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ）	
2005年10月	第25回有馬賞をルフトハンザドイツ航空会社（N響特別協力企業）、金田幸男（N響インスペクター・ヴァイオリン奏者）に授与	
2005年10月11～17日	ヨーロッパ公演。ドイツ（ベルリン）、オーストリア（ウィーン）、ハンガリー（ブダペスト）、ポルトガル（リスボン）、スペイン（マドリッド）の5か国5都市で6公演を開催（指揮：ウラディーミル・アシュケナージ、ヴァイオリン：ワディム・レービン、ソプラノ：ソイル・イソコフスキー）。ウィーン楽友協会定期に日本の常設オーケストラとしては初出演	
2005年10月14日		郵政民営化法成立
2005年10月22日		兵庫県立芸術文化センター開館
2005年10月28日		内田光子（ピアノ）が文化功労者に選ばれる
2005年11月15日		紀宮清子内親王、ご結婚
2005年11月17日		「構造計算書偽造問題」発覚
2005年12月	横浜みなとみらいホールで「定期公演」の同一プログラムの定例化開始（～2019年1月）	